

平成28年度 文化財“体感”事業

「未来の“匠”養成」建造物修復現場インターンシップの概要

- ◆目的:文化財建造物修復現場である文化財保存事務所において、奈良朱雀高等学校と吉野高等学校の建築工学科生徒(1・2年)約40名のインターンシップを受け入れ、修復現場の調査や修理作業の体験してもらう。これにより、生徒に文化財保護への理解を深めさせ、文化財保存にかかわる仕事を選択肢として提示し、将来の人材確保につなげる。

◆日程・概略

○本科(3日間)

- ・平成28年7月26日(火)～7月28日(木)
- ・文化財保存事務所 法隆寺出張所
- ・奈良朱雀高校2年生2名、吉野高校1年生2名(計4名)

○1日体験

- ・平成28年8月2日(火)文化財保存事務所 法隆寺出張所(11名)
- ・平成28年8月3日(水)文化財保存事務所 称念寺出張所(12名)
- ・平成28年8月4日(木)文化財保存事務所 唐招提寺出張所(13名)
- ・奈良朱雀高校1年生(計36名)

◆作業内容

- 調査体験・・・文化財建造物の修理技術者が行っている仕事を実際に体験する。
部材実測、記録写真撮影 等
- 作業体験・・・修理現場での大作業等を実際に体験する。
大工仕事の補助、左官作業の補助 等

◆インターンシップ参加生徒の感想等

1. インターンシップに参加した理由

- ・**建築士になるために色々なことを体験したいと思ったため。**
- ・歴史的建造物の構造を知りたいと思ったから。
- ・**建築関係の学科で、建築の文化財などを見学したかったから。**
- ・法隆寺をどんな風に修復しているのか興味があったから。

2. インターンシップの感想(自由記述)

- ・**古い建築物を修復する仕事は建築の成り立ちが読み取れる良い仕事だと思った。**
- ・**自分も将来建築の仕事につき、今回インターンシップでやったことが出来たら良い。**
- ・来年も参加して、色々な事(作業)を教えていただきたい。
- ・**文化財建造物を大事にして、建築に関わる仕事をしていきたいです。**
- ・とても貴重な体験ができたし、**これからの仕事を選ぶ選択肢が増えた。**
- ・学んだ建築の知識や技術を今後活かしていきたいと思います。

インターンシップ(本科3日間)の写真(7月26日~28日)



開所式



修復現場(中門)



写真撮影実習



写真撮影実習



部材実測実習



摺り本実習



木材加工実習(ヤリガンナ)



まとめと記録

